

## 令和 2 年度西郷村通学路安全推進会議

10月23日（金）、西郷村通学路安全推進会議が開催されました。これは、村内各学校、西郷村、子どもの安全見守り隊、県南建設事務所、白河警察署など関係機関が集まり、通学路の状況確認とその改善など登下校の安全向上を目的に行われるものです。各校から出された改善要望の進捗状況が説明され、横断歩道の引き直し等いくつかは対策が講じられています。

通学路に関して不安なことや危険だと思われる箇所がございましたら、ぜひ学校までご連絡ください。今後も本校に係る改善要望を出していきたいと思えます。

また、会議の中で警察署から生徒・保護者の皆様に注意喚起がありましたので、以下に記載します。

- 通学時の送迎で、ランドセルやリュックを背負っているためシートベルトをしないご家庭を見かけます。安全確保のため全席シートベルトの着用をお願いします。
- 特に低学年のお子さんで、縁石の上を歩行していることがあり、危険です。過去には車道側に転落してトラックと接触し即死した事案もあります。ご注意ください。
- 歩道から突然車道に入る自転車があります。注意してください。

## 体育祭 ～心を燃やせ！～

10月30日（金）、待ちに待った体育祭を実施しました。感染防止対策を講じながら、午前中だけの短縮実施となりましたが、内容の濃い、素晴らしい行事になりました。種目は、バレーボール、綱引き、大縄跳び、借り物競走でした。各学年の優勝クラスは次の通りです。

**総合優勝 1年1組 2年2組 3年3組**



## 西郷村一周駅伝大会

11月3日文化の日に、村一周駅伝大会が開催されます。総勢21チームが出場する中、本校からは3チームが出場します。チーム名は次のとおりです。

- 西ニバスケット部 ●西ニルーキーズ
- 吉田亜里紗のレスリング同好会チーム

補欠を含め、それぞれ14名の子どもたちが疾走します。9時スタートです。健闘を祈ります。

## 三者面談

11月2日（月）から11日まで三者面談を実施します。ご家庭におけるお子様の様子や学校生活や進路に関して不安なことなど、何でも担任にお話しいただければと思います。特に3年生については、今後の進路を踏まえた大切な確認もあり、たいせつな面談になってきます。

## 校内入試説明会

10月30日（金）、3年生の生徒・保護者を対象に校内入試説明会を実施しました。ご来校くださった保護者の皆様に感謝いたします。今後、進路に関して不明な点、知りたい点があれば、遠慮せずお問い合わせください。

裏面には「税についての作文」入賞作品

3年1組 鈴木心菜さんが中学生の「税についての作文」で東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。この作文コンテストは、将来を担う中学生が、税に関して、身近に感じたこと、学校で学んだこと、テレビや新聞などで知った話など、税に関することを題材に作文を書くことを通じて、税について関心を持ち、正しい理解を深めることを目的に行っています。おめでとうございます。

## 「負担」ではなく「支援」に

西郷第二中学校 鈴木心菜

### 「10パーセント！」

去年の10月から消費税率が8パーセントから10パーセントに引き上げられた。1,000 円の物を買ったら 1,100 円、10,000 円なら 11,000 円、100,000 円なら 1 万円も消費税を払わなければならない。百円ショップなんて、今では百円でなんて買えない。消費税が10パーセントになる前には、たくさんの消費者が買いためや大型家電、家具を買う姿がニュースで流れた。

税金。何のためにこの税金は必要なのか。何のために消費税率を 10 パーセントに引き上げ、私たちの負担を増やしたのか。この作文を書くにあたって私は、この2つについてインターネットと租税教室で学んだことをとおして考えることにした。

何のために税金が必要なのか。私は税金なんて必要ないと思っていた。何に使われているかわからないし、特に消費税率はどんどん上がって買いたい物の値段も上がるし。でももしも税金がなくなったらどうなるだろうか。調べてみて私ははっとした。自分の身近なところだと、税金の一部は私たちの学校の授業料や教科書、教室の机やイスなどに使われているのだ。中学校の1年の学費はおよそ百万円。と言うことは、もしも税金がなくなったら、私たちの中から学校に行きたくても行けなくなってしまう人が出てくる。みんなが平等に学ぶ権利がなくなってしまうのだ。

その他にも、警察や消防士、救急車を呼ぶ時、図書館などの公共施設や道路工事、ごみ処理など、たくさんの場面に税金が利用されていることがわかった。私の父は以前、大けがをして救急車で病院に運ばれたことがある。あの時すぐに応急処置をしてもらい、すぐ病院に行って助けてもらうことができたのは、たくさんの人のおかげと共に税金のお陰だったということがわかり、感謝の気持ちでいっぱいになった。

何のために消費税率を引き上げ、私たちの負担を増やしたのか。いや、増税は私たちの負担を増やすのではなく、私たちの「ため」にされたことがわかった。少子高齢化が進んだ影響で年金や医療などの社会保障を維持するための費用が足りなくなり、税率を8から10パーセントに引き上げたことがわかった。

このようなことを考えると、私たちには税金が必要不可欠な存在である。もし税金がなくなり、様々な公共サービスが有料になったら、お金を持っている人だけが裕福に暮らすことができ、持っていない人は不便な生活を送らなければならない。そんな貧富の差がある世の中よりも、国民が支え合いながら、平等に、便利に生活を送ることのできる今の世の中の方がよっぽどいいと思う。私はこの機会を通して、学べたことが増えた。税金は私たちの「負担」ではなく、私たちの「支援」なのだ。